

国立大学法人 岡山大学 (2023年認定)

計画期間中の取組の概要

計画期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日

業種：教育、学習支援業

労働者数：6,013人（男性2,612人、女性3,401人）

計画期間の育児休業等の取得状況

育児休業取得率 女性 97%

育児休業及び育児目的休暇（配偶者出産休暇、育児参加休暇）取得率 男性 41%

主な取組内容

- 学内保育施設について、保育士の処遇改善や利用者範囲（保護者）の拡大等を実施。
- 相談ネットワーク体制構築のため、「ワークライフ・ファミリーサポート室」という従来の枠組みを見直し、新たによろず相談プログラム・メンタープログラムを開始。
- 次世代育成支援意識啓発のため、「ダイバーシティ推進実行委員会おかやま」主催で「子から親へのエール論文コンクール」やシンポジウムを開催し、県内外へ情報発信を行った。



くるみん取得のきっかけ

次世代育成支援対策推進法に基づく第VI期一般事業主行動計画が令和4年3月で終了したことに伴い、その検証とさらなる全ての教職員が、仕事と子育てを両立させることができる働きやすい職場環境を目指すこととなったこと、また、令和3年5月に新たな「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」を制定し、大学組織の創造性、革新性、しなやかさをより一層高め、本学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」を目指すこととなったことがきっかけです。

認定マークをどのように活用したいか

ホームページ、統一デザイン名刺、事業パンフレット、ポスター等へ積極的に掲載し、岡山大学のイメージアップや教職員の意識啓発に繋げていきたいです。

これから認定を目指す企業にエール

今回、岡山大学は4回目の「くるみん」マーク認定を受けましたが、これをゴールではなく一通過点と捉え、教職員が仕事と育児という二重の責務を抱えた状態にあっても、持てる能力を十分に発揮できる仕組みを構築し、より「子育て」をしやすい職場となるよう環境を整えていきたいと考えております。

「くるみん」マーク認定に向けて、一般事業主行動計画の検証もでき、その中で改善点等も見えてくるので、ぜひ認定を目指してほしいと思います。

令和5年3月17日（金）
認定通知書交付式を行いました！
（岡山大学構内）



企画・評価・総務担当理事 高橋香代様(左)と雇用環境・均等室長